

【日本医療福祉生活協同組合連合会創立記念レセプション 主催者あいさつ】

本日はご多用の折、政党、行政、日本を代表する医療・福祉・商工業団体、協同組合、国際機関などの皆さまにおかれましては、日本医療福祉生活協同組合連合会創立記念レセプションにご出席いただき、誠にありがとうございます。連合会を代表して、ご挨拶を申し上げます。

2008年に生協法が改正され、生協の事業項目としてあらたに医療事業・福祉事業が明記されました。私たち医療福祉生協はその社会的要請や期待に応えるため、設立発起入会をつくり全国連合会設立をめざしてきました。115の医療福祉生協と日本生協連の参加で、創立総会を行い、厚生労働省より設立認可をいただきました。そして、10月1日より無事、事業を開始することができました。これまで、医療福祉生協連設立に向け、厚生労働省社会・援護局生協業務室の皆様には、懇切丁寧なご指導をいただき誠にありがとうございました。この場をおかりして厚く御礼を申し上げます。

私たち医療福祉生協連は、医療・福祉事業や組合員活動を通じて、健康づくり、安心して暮らし続けられるまちづくりに取り組んでいきます。

今日、私たちはかつて経験したことのない超高齢社会を目前にしています。

こうしたなか、私たち医療福祉生協連のめざすまちづくりは、高齢者が主役のまちづくりです。今後、まちづくりを進めておられる多くの団体の貴重な経験に学ばせていただきながら、私たちの専門分野である医療や福祉の分野で役割を発揮し、医療と介護の切れ目のないサービスを提供していきます。

そして協同と連帯の力で「高齢者にやさしいまちづくり」をすすめたいと考えています。

現在、多くの高齢者は、「一人ぼっち」「寝たきり」「認知症」の3つの不安を抱えています。そして最期は住み慣れた地域や自宅で人生の幕を閉じたいと願っています。こうした高齢者の想いに応えるまちづくりは、私たちだけでは到底できません。地域で医療・福祉事業に携わる方々や、多くのボランティア団体などの皆さまの力を借りながら、地域の住民団体や自治体との協力協同で実現できるよう努力してまいりたいと考えています。

さらにこれらの諸活動を通じ、得られた経験と組合員の想いを大切にし、医療・福祉政策への提言ができる組織へ発展したいと願っています。

私たち医療福祉生協連には、医療・介護の質の保証、安全管理の充実強化、ガバナンス強化など多くの課題があります。全国の医療福祉生協が力をあわせ、これら課題に取り組み、一歩ずつ前進して参りたいと思います。これまで以上にみなさまからのご指導・ご鞭撻を賜りますよう、高い席からではございますが、心からお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

2010年10月13日

日本医療福祉生活協同組合連合会
会長理事 高橋泰行